

燃料タンクT-238(300L)タイプの性能向上についてのご案内

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は弊社製品に対し格別なるご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、首題の件、車両側の改良に伴い燃料サブタンクの取付けが上物架装や車両側の補機類等の影響により、一部型式の燃料サブタンクにおいて厳しい状態となっている場合があります、車両側の性能向上と共に加わる振動が耐久性に影響を与えることを懸念しています。

弊社ではその対策を検討し、信頼性及び架装性を向上させるために燃料サブタンクの一部型式を下記の通り、改良することに致しました。

今後とも弊社製品をご愛顧賜ります様、宜しくお願ひ申し上げます。

敬具

記

1. 改良型式

現行品番	新品番	容量	備考
T-238Y	T-238B	300L	2型 スチール製燃料サブタンク
T-238Y-L	T-238B-L	300L	2型 スチール製燃料サブタンク(給油口左側)
ST-238Y-400	ST-238B-400	300L	2型 ステンレス製燃料サブタンク

2. 改良内容

信頼性向上のために、バッフルプレート(内部仕切り板)を1枚追加

品名	容量(L)	長さ(mm)	奥行き(mm)	高さ(mm)	ステー間隔(mm)	質量(kg)	バッフルプレート枚数
(新)T-238B	300	1075	602.8	502.8	720	43.2	4枚
(現)T-238Y						40.7	3枚
(新)T-238B-L	300	1075	602.8	502.8	720	43.2	4枚
(現)T-238Y-L						40.7	3枚
(新)ST-238B-400	300	1075	603.0	503.0	720	44.1	4枚
(現)ST-238Y-400						41.6	3枚

本改良で第4項の「T-238B型の下方取付け要領」により、指示範囲内での下方取付けが可能となります。(新品番サイズにのみ適用)

3. 互換性

外観寸法(含部品取付け位置)及びステー取付け間隔の変更はないため、互換性はあります。但し、質量増(2.5kg)に注意願います。

4. 取付け時のご注意

車両への取付けに際しましては、弊社「取付け時のご注意」(燃料タンク本体に添付)をお守り下さい。尚、特に高さ方向で弊社指示位置に取付けることができない場合は、別紙の「燃料タンクT-238B型の下方取付け要領(JPT 11-026)」により取付けて下さい。

5. 発売時期

現行T-238Y在庫消化後となります。(平成23年8月後半より出荷予定)

燃料タンクT-238B型 下方取付け要領

燃料タンク T-238B型(T-238B、T-238B-L、ST-238B-400)の取付けに際しまして、取付け高さが弊社指示寸法(タンク高さ1/2 が車両側シャシーフレーム下端より下とにならない)を確保できない場合は、本要領により取付けて下さい。

1. 取付け要領

- (1) 図1のようにスペーサーをシャシーフレームとステーの間に入れ、ステーをシャシーフレームに取付けて下さい。
 スペーサーは弊社部品(スペーサー SP-21:図2)又は同等の部品もしくは図1の一枚板の部品を製作して使用して下さい。(4個/台:スペーサーの場合)
 なお、スペーサーの上端はステーの上端より下方にならないようにして下さい。
- (2) シャシーフレーム、スペーサー及びステーの取付け穴は現場加工とし、シャシーフレームへの取付け用としてステー1本当たり4箇所以上、及びスペーサーとステーの固定用として、スペーサー最下端より約60mmの位置で2箇所開けて下さい。(φ13)
 なお、加工した穴のバリは確実に取り除き、必要に応じて塗装等の防錆処置を行って下さい。
- (3) 取付けはM12x1.25の7T以上のボルトで、首下の長さはばね座金を挿入した後に確実にナットの締付が行えるものを使用して下さい。
- (4) その他につきましては、弊社「取付け時のご注意」(燃料タンク本体に添付)により取付け願います。

2. 注意事項

- (1) 下方取付け寸法hは最大で50mmまでとします。(図3参照)
- (2) スペーサーを使用しない燃料タンクの下方取付けは、絶対に行わないで下さい。
- (3) 燃料タンク、ステー及びバンドの早期不具合の原因となりますので、上記注意事項をお守り下さい。
 なお、本要領通りの取付けができない場合は、別途ご相談下さい。

以上

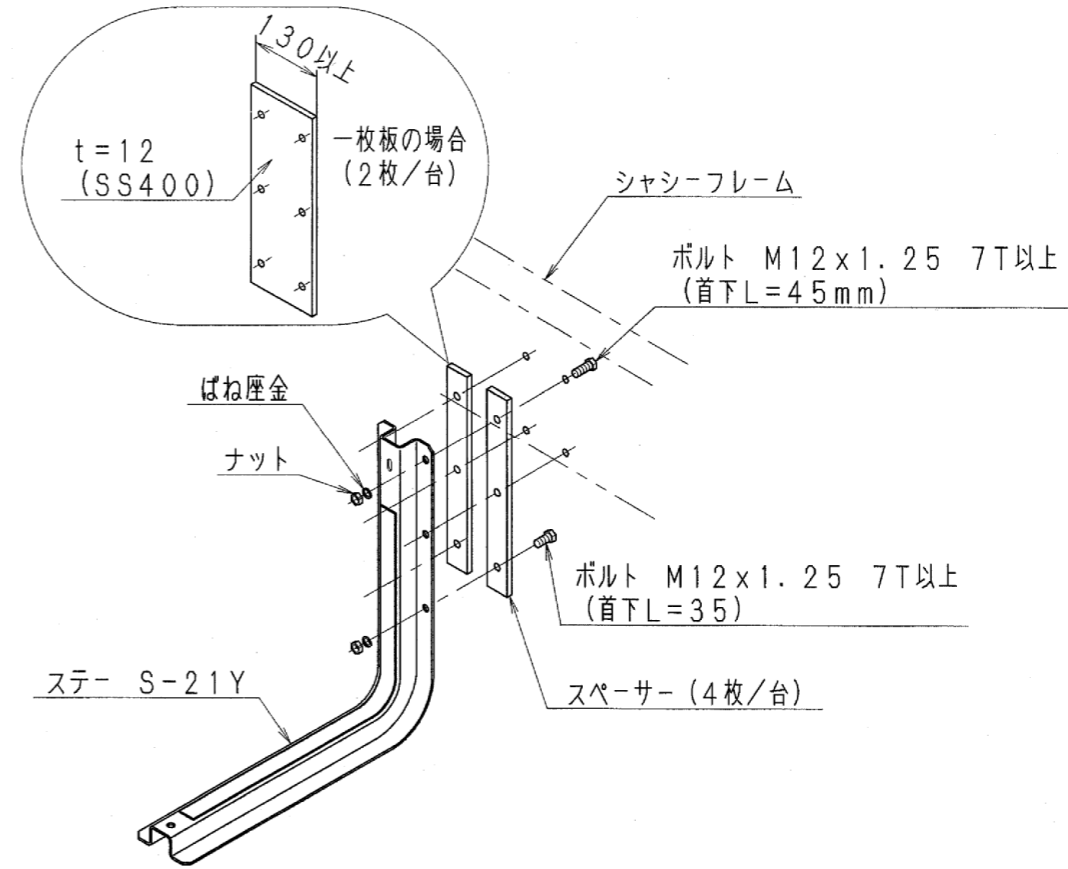


図1

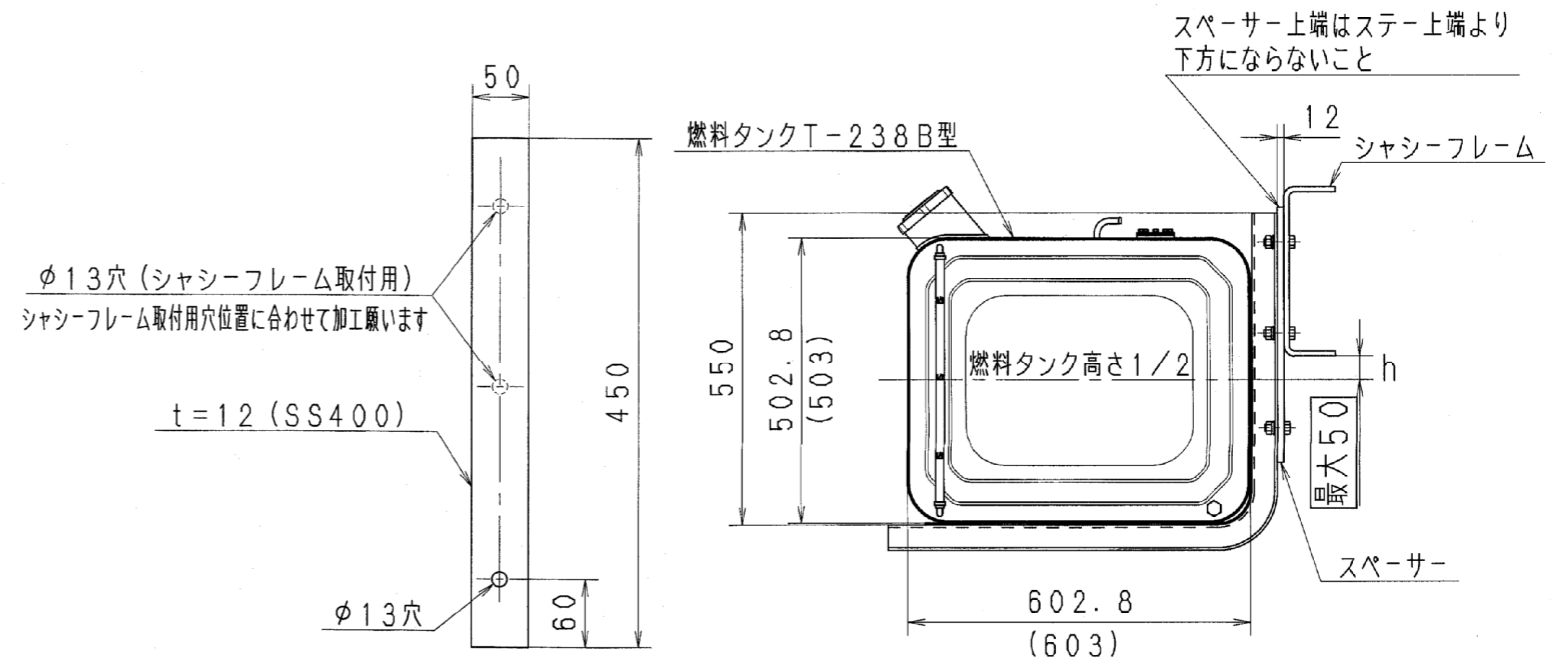


図2

()内はST-238B-400の場合

図3

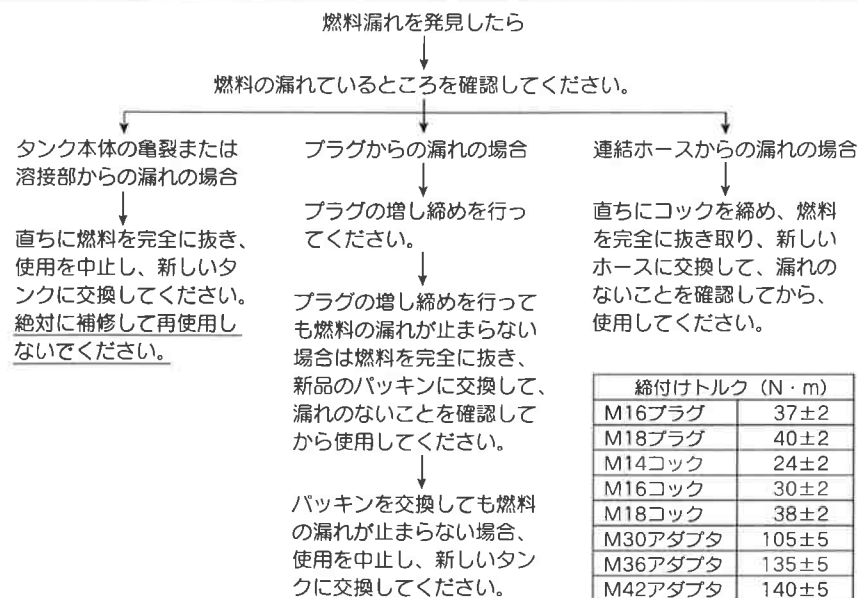
5. タンクを連結して使用している場合は

警告 : 始業点検時、連結部から燃料漏れがないことを確認してください。
 : 給油中及び給油直後（特にそのまま車庫等で駐車する時）は必ずコックを締めてください。道路及びタンクの取り付け条件によってはタンクキャップの通気穴より燃料が逆流することがあります。

・この使用上のご注意は、YS燃料サブタンクを取付けられたお客様に必ずお渡しください。
 ・この使用上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

6. 燃料漏れを発見したら

危険 : タンク本体及び接続部からの燃料漏れを発見したら、直ちに以下の処置をとってください。



YS 燃料サブタンク

使用上のご注意

● 寸法表

タイプ	Y S No.	容量(L)	寸 法 mm				質量(kg)
			長さ(A)	奥行(B)	高さ(H)	ステー間隔(L)	
1 型	T-150B	100	1,050	367.4	292.4	700	18.7
	T-210Y	190	690	602.4	502.4	360	27.3
2 型	T-218Y	200	725	602.4	502.4	360	28.0
	T-228Y	250	900	602.8	502.8	550	36.7
	T-230Y	293	1,040	602.8	502.8	720	39.9
	T-238B	300	1,075	602.8	502.8	720	43.2
3型-1	T-318Y	300	1,220	603.2	453.2	650	49.2
A 型	T-A30Y	300	1,175	653.2	429.2	760	47.3
3 型	T-338Y	300	975	633.2	533.2	505	46.4
	T-428Y	130	700	532.4	392.4	390	20.5
4 型	T-438Y	150	800	532.4	392.4	390	22.1
	T-448B	200	1,050	532.8	392.8	660	30.5
	T-458Y	250	1,275	532.8	392.8	800	36.5
5 型	T-538Y	100	762	532.0	282.0	390	15.0
6 型	T-638Y	150	975	532.4	322.4	470	22.6
	T-648Y	200	1,275	532.8	322.4	800	33.0
7 型	T-738Y	350	1,220	603.2	503.2	440・440	52.7
	T-748Y	400	1,405	603.2	503.2		57.6
8 型	T-828Y	190	580	652.8	552.8	360	30.3
	T-848Y	290	880	652.8	552.8	430	40.9

この取扱説明書に関する問い合わせは下記のところまでお願いいたします。

〒475-0828 愛知県半田市瑞穂町8丁目12番地2
 TEL 0569-21-3324
 FAX 0569-21-3369

YST YSタンク株式会社

I. 定義とシンボルマーク

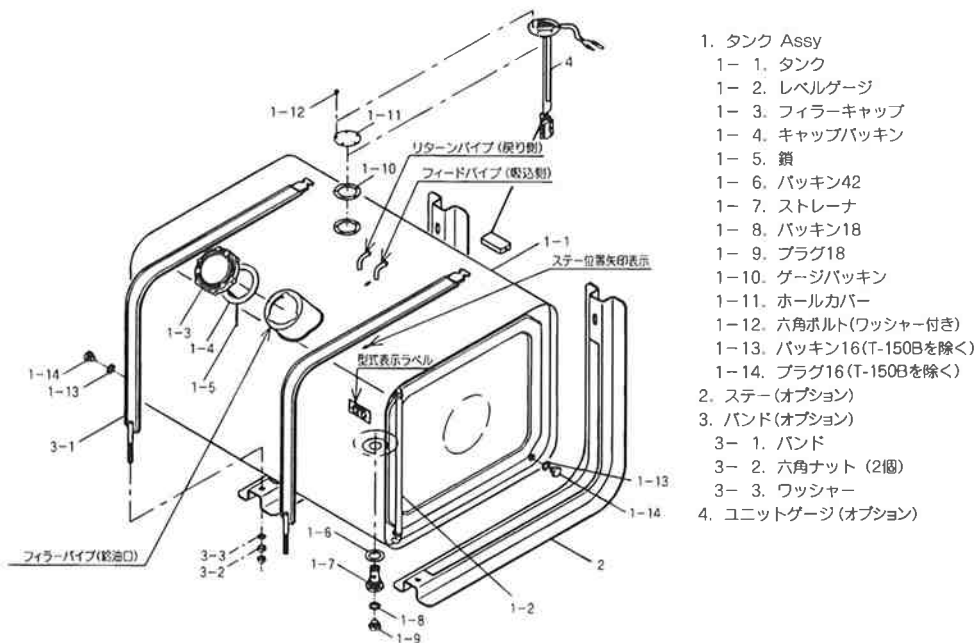
「危険」、「警告」、「注意」について本使用上のご注意では次のような定義とシンボルマークが使用されています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：危険を無視した取扱いをすると、死亡または重傷を負うことが想定される内容です。

警告：警告を無視した取扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

注意：注意を無視した取扱いをすると、傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

1. YS燃料サブタンク構成部品及び各部の名称



II. YS燃料サブタンク使用上の注意

1. 燃料タンク付近は火気厳禁です。

危険：燃料タンク付近での火気の使用はもちろん、引火しやすいものも置かないでください。火災の危険があります。

2. 運転前には必ず始業点検を行ってください。

警告：運転前には必ず始業点検を行い、燃料の漏れはないか、ステー、バンドのねじ部にゆるみがないかを確認してください。

- ・タンクから燃料のもれはないか。
- ・ホースやプラグからの燃料漏れはないか。
- ・ステー、バンドのねじ部にゆるみはないか。

3. 給油時の注意

危険：軽油以外の燃料は絶対に使用しないでください。火災及びエンジントラブルの危険があります。

注意：燃料はフィルターパイプの上面ぎりぎりまで入れないでください。フィルターパイプの上面ぎりぎりまで入れると吹き返しにより燃料があふれだすことがあります。給油はフィルターパイプ内のフィルターストッパー（約50mm奥に取付けてある板）の下部までとしてください。



- ・寒冷地または寒冷地に行く場合は寒冷地用の軽油を給油してください。軽油が凍結し、エンジンが始動しないことがあります。詳しくはガソリンスタンドでご相談ください。
- ・給油後、フィルターパイプ付近にこぼれた軽油はふき取ってください。

4. フィラーキャップについて

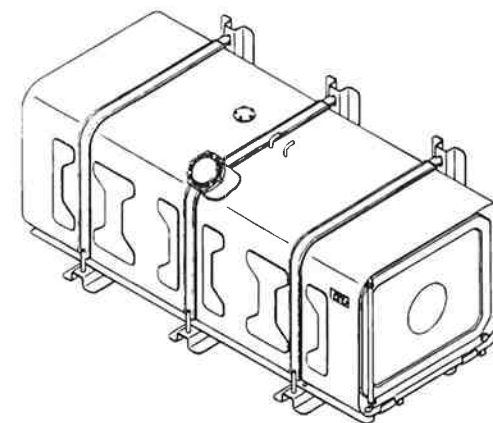
- ・給油時には、フィラーキャップに異常がないかを確認してください。
 [フィラーキャップのパネ板の変形やゴムパッキンの劣化]
 [は燃料漏れにつながります。新品と交換してください。]
- ・フィラーキャップを取付ける場合は、ストッパー位置まで確実に回してください。
 [不完全取付により燃料が吹き出ししたり、異物がタンク内に]
 [入りこみエンジントラブルの原因になります。]
- ・フィラーキャップを紛失した場合は、販売店にご相談の上、弊社製のフィラーキャップを取付けてください。

YS 燃料サブタンク

取付け時のご注意

3. スターの取付け

- ・タンクの型式に合ったスターを使用し、タンクのスター間隔(L)をお守りください。
- ・スターは、シャシフレームにボルトで固定してください。
- ・シャシフレーム及びスターの取付け穴は、φ13のドリルで、スター1本につき4か所以上あけてください。
- ・取付け穴の縦ピッチ(h)はタンク底受面からの寸法(a)を基準にして、下記最小h寸法以上の間隔であけてください。(スターの上端面を基準にしますと、タンク底受面“↓”の水平がでない恐れがあります。)……図7参照
 ※最小h寸法 大型車：160mm、中型車：120mm
- ・取付け穴の横ピッチ(w)は95mmから100mmです。
 ただし、S-15Yのみ90mmです。
- ・シャシフレームにあける取付け穴は、下記を必ずお守りください。……図8参照
 既存の穴から45mm以上離してください。
 上下のフランジから40mm以上離してください。
- ・取付け穴のバリは確実に取除き、穴の内側には防錆のため塗料を塗布してください。



⚠ 注意

- ・取付けボルトは、M12×1.25でJIS強度区分8.8または、7T以上の強度のものを使用し、シャシフレームに70~90N・mのトルクで取付けてください。
- ・タンクの取付け位置(高さ)はシャシフレーム下端より下へタンク高さ(H)の1/2を越えない範囲で取付けてください。……図9参照

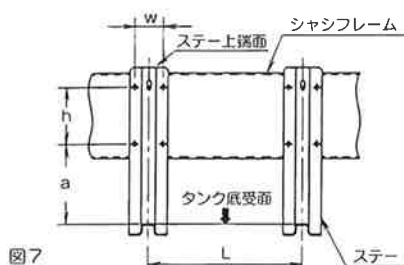


図7

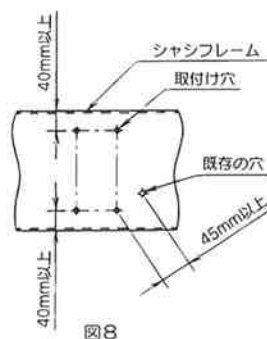


図8

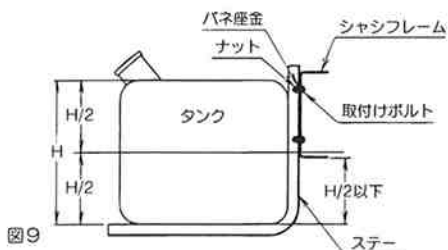


図9

- ⚠ 注意: タンク及びスターの強度は、取付け方で著しく低下する場合がありますので、必ず前項の取付け方に従い、取付けてください。
 なお、取付けが困難な場合は弊社までご相談ください。

〒475-0828 愛知県半田市瑞穂町8丁目12番地2
 TEL 0569-21-3324
 FAX 0569-21-3369

YST YSタンク株式会社

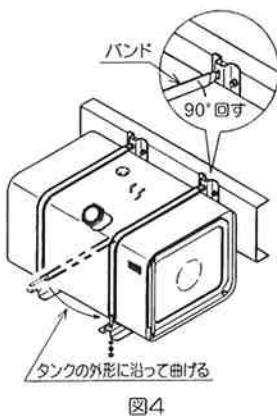
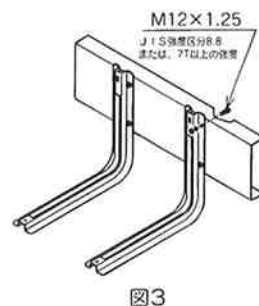
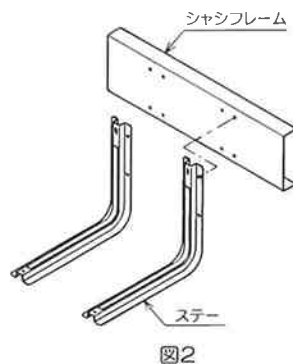
1. タンクの取付け

- ・タンクは型式 (YSNo.) に合わせて、表 1 の専用取付け部品で取付けてください。
- ・ステータス間隔 (L) の位置には、タンク内部に補強が入っていますので、必ずステータス間隔をお守りください。
公差は±10mmです。
- ・ステータス間隔の中心にタンクの中心に合わせて下さい。
- ・ステータスの位置はタンクの上面に矢印表示されています。

2. タンクの取付け手順

トラックに取付ける場合の一般的な取付け手順

- (1) メインタンクとして使用する場合は、既設のタンクの軽油を抜いてから取外します。なお、この時燃料の吸込み側と戻り側のホースに目印を付けておくとう便利です。
- (2) シャシフレーム及びステータスに取付け用の穴をあけます。…図2
ステータスを取付けたときシャシフレームのリベット等の突起物にステータスが干渉しないか、タンクを載せたときタンクが他の部品と干渉しないかを確認してから行ってください。
→P 3 “ステータスの取付け” 参照
- (3) ステータスをシャシフレームに取付けます。……図3
シャシフレームへの内側からボルトを入れ、ナットで固定します。この時、必ずバネ座金を使用して緩み止めの処置をとってください。→P 3 “ステータスの取付け” 参照
- (4) 取付けたステータスにタンクを載せます。
タンク上面の“ステータス位置”の矢印表示位置を確認して、タンクを載せます。→P 1 “タンクの取付け” 参照
メインタンクとして使用する場合は、ユニットゲージを先に取付けておいてください。(ユニットゲージ取付け用ビスの締め付けトルク1.5~2.0N・m)
- (5) バンドを取付けて、タンクを固定します。……図4
①ステータスの長穴にバンドのフックを挿入したあと、クッション材(ゴム)がタンク側になるように、90°回します。バンドを挿入しにくいときは、タンクを手前に少し引出し、挿入後タンクを元の位置に戻します。
②タンクの外形に沿わせながらバンドを曲げて、ステータスのボルト穴に通します。
③付属の平座金を挿入した後、一段目のナットを20~30N・m、二段目のナットを30~35N・mのトルクで締め付けてください。

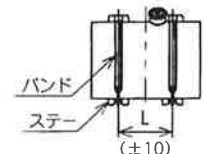


型式	YS No.	容量(ℓ)	ステータス間隔 L(mm)	取付け方法	取付け部品		
					ステータス	バンド	保護板
1 型	T-150B	100	700	(I)	S-15Y(2)	B-15Y(2)	---
2 型	T-210Y	190	360		S-21Y(2)	B-21Y(2)	---
	T-218Y	200	360				
	T-228Y	250	550				
	T-230Y	293	720				
	T-238B	300	720				備考 3) 参照
3型-1	T-318Y	300	650		S-31Y(2)	B-31Y(2)	
3 型	T-338Y	300	505		S-33Y(2)	B-33Y(2)	備考 3) 参照
4 型	T-428Y	130	390		S-42Y(2)	B-42Y(2)	
	T-438Y	150	390				
	T-448B	200	660				
	T-458Y	250	800				
5 型	T-538Y	100	390		S-53Y(2)	B-53Y(2)	
6 型	T-638Y	150	470		S-63Y(2)	B-63Y(2)	
	T-648Y	200	800				
7 型	T-738Y	350	440・440	(II)	S-21Y(3)	B-21Y(3)	
	T-748Y	400	440・440	(III)	S-74-1Y(3)	B-74-1Y(3)	H-74Y (2)
8 型	T-828Y	190	360	(I)	S-82Y(2)	B-82Y(2)	
	T-848Y	290	430				
A 型	T-A30Y	300	760		S-A30Y(2)	B-A30Y(2)	

表 1

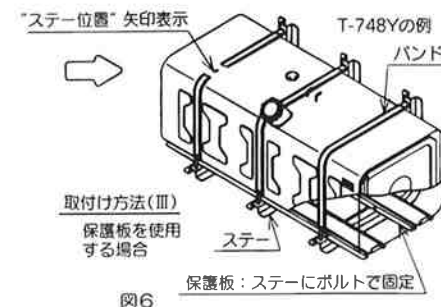
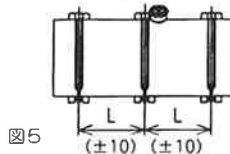
取付け方法 (I)

ステータス、バンド各々 2本で取付ける方法



取付け方法 (II)

ステータス、バンド各々 3本で取付ける方法



備考

- 1) ステータス、バンド及び保護板の後の () 内数字は、タンク 1 台当りの使用本数を示します。
- 2) T-748Y (400ℓ) には必ず保護板 (H-74Y) を使用してください。
- 3) T-238B (300ℓ)、T-338Y (300ℓ) には、保護板を別途用意しています。
表示のステータス間隔がとれない場合、および悪路走行の場合は必ずご使用下さい。

T-238Y、T-338Yで保護板を使用する場合のステータス、バンド、保護板の組合せ

YS No.	容量(ℓ)	ステータス間隔L(mm)	取付け方法	ステータス	バンド	保護板
T-238B	300	720	(III)	S-74-1Y(2)	B-74-1Y(2)	H-23Y(2)
T-338Y	300	505		S-33-1Y(2)	B-33-1Y(2)	H-33Y(2)

表 2